

dislocate 15



働いて
いますか?
Is it Working?

2015年10月15日~12月20日

@東京都杉並区善福寺&西荻窪 他

ディスロケイトとは?

ディスロケイト (dislocate) は、2006年から続けているアート企画です。毎年、主にアジアで活躍若手アーティストを招へいしています。近年、小学校、お年寄りの施設、商店街等と協力し、杉並区の善福寺や西荻窪を中心に、ワークショップやディスカッションイベント、制作活動を行ってきました。これまで、インド、ミャンマー、ラオス、カンボジア、韓国、日本などのアーティストや専門家が地域の人たちとワークショップや作品づくりを通じて交流し、お互いに視野を広げるきっかけをつくってきました。

dislocate15

2015年10月15日~12月20日 @東京都杉並区善福寺&西荻窪 他

働いていますか? Is it Working?

働いていますか? Is it Working? とてもシンプルな質問ですが、場合によっては様々な意味が読み取れることばでしょう。

デジタルメディアが拡大し、グローバルな経済システムの止まらない循環の中に閉じこめられた私たちは、気がついたら寝る時間も休みの時間も仕事にしまっています。仕事とレジャーの境が多くの人にとって、ますます曖昧になり、私たちは労働の24時間対応を許容するようになってきました。

その一方、私たちは何かの理由で、「仕事の世界」から離れていることもあります。必死に仕事を探している人がいれば、NEETのようにあえて遠回りする人もいます。この問いは雇用の問題だけではなく、仕事そのものの定義に焦点を当てます。正統な仕事って何でしょう? 「生産的」な仕事とは何でしょう? どのような仕事から報酬を得るべきでしょうか? どのような仕事であれば無報酬でも良いと言えるのでしょうか? 社会に貢献する仕事とは何でしょうか? またはプライベートの領域に置かれた仕事は何でしょうか?

また英語だと「Is it working?」という質問は仕事のことだけではなく、物事がうまく、予定通り進んでいるかという意味でもあります。日本では少子高齢化、高齢者介護の問題、若者が安心できない将来、女性の長期安定雇用の不足の問題、また、経済システムが厳しい条件で働く派遣労働者や移民労働者に依存せざるを得ないことなども、この問いの対象になるでしょう。

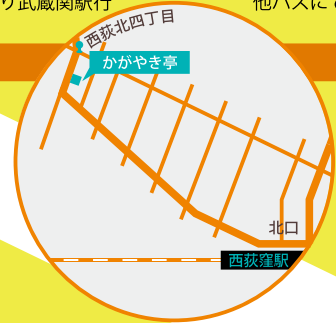
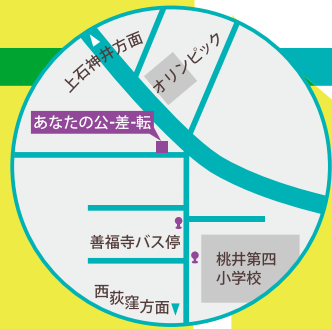
このプロジェクトは上記の様々なニュアンスの問いをかけながら、職場内外の「働くこと」を巻き込む文化に焦点を当て、その文化は「パブリック」を想像することにどのように影響を与えるのかを探求していきます。レジデンス・プログラム、ワークショップ、フィールドワーク、ディスカッションや上映会などを通して仕事そのものの構造を解体し、その構造の枠以外の可能性を求めていきます。

会場

あなたの公-差-転

〒167-0041 東京都杉並区善福寺4-1-1 和田ビル4F
 メール: contact@kosaten.org
www.kosaten.org

西武新宿線 上石神井駅から徒歩15分。JR中央線 西荻窪駅 北口
 /2番バス停より上石神井駅行他バスにて「善福寺」下車。徒歩1
 分。東京メトロ丸ノ内線・JR中央線 荻窪駅 北口/0番バス停より
 武蔵関駅行 他バスにて「善福寺」下車。徒歩1分。



〒167-0042 東京都杉並区西荻北4-4-4 三益ビル
 電話: 03-5303-5085
www.h6.dion.ne.jp/~momo3/rest.html

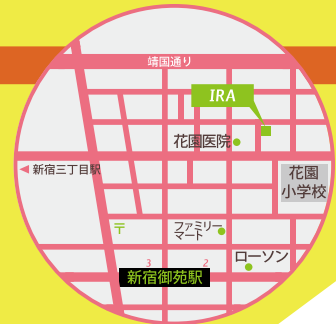
JR中央線 西荻窪駅 北口 西へ徒歩7分
 バス: 西荻窪駅より上石神井駅・吉祥寺駅・大泉学園駅行にて、
 「西荻窪北4丁目」下車。徒歩2分



アジア女性資料センター

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町14-10
 渋谷コープ211
 電話: 03-3780-5245
www.ajurc.org

JR山手線 渋谷駅 西口から徒歩5分。



Irregular Rhythm Asylum イレギュラー・リズム・アサイラム

160-0022 東京都新宿区新宿1-30-12-302
 電話: 03-3352-6916
<http://ira.tokyo/>

東京メトロ丸ノ内線 新宿御苑前駅 2番出口から徒歩3分。

当日参加が可能です。事前に予約をいただけるとありがたいです。お申込みは info@dis-locate.net まで。

お問い合わせ/ご予約

info@dis-locate.net

<http://dis-locate.net/>

<https://www.facebook.com/dis10cate>

dislocate15 - Is it Working?

October 15 - December 20 Nishiogikubo/Zempukuji
 @ Kosaten + others

Is it Working?

-As the line between work and leisure increasingly blurs in our 24 hour society, we may question if we ever stop working, whilst for some there is the constant worry of procuring employment. With this in mind we investigate, through an art program, the very definition of work. What is considered a legitimate form of work? What work is deemed productive? Which work is to be rewarded with pay? And which is relegated to the realm of "unpaid"? Which work is seen as contributing to society and which is seen fit only for the private sphere? Finally this leads to the pertinent question of "Is it working?" Is it really going according to plan? - A fitting question for the current labor market in Japan and the wider world.

This event aims to ask all of these questions through an examination of the culture surrounding work, both on and off the job, and how this comes to form our very imagination of the "public". Through a residency program and regular series of workshops/field work, discussions and screenings we hope to investigate the structures of work and the possibilities outside of this frame.

月	火	水	木	金	土	日
10月			15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30
11月						1
	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30
	31					

土 Saturday	日 Sunday
	10月18日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ 対話の実験室7「働いて何を生み出しているの?」 18:00~ ウェルカムパーティー
10月24日(土) 15:00~18:00 @アジア女性資料センター(渋谷) 労働+移住+文化 ——香港のケーススタディ	10月25日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ
	11月1日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ
11月3日(火)・祝 15:00~18:00 1960年代の働き方・暮らしぶりと今 @かがやき亭(西荻窪)	
11月7日(土) 15:00~18:00 @あなたの公-差-転 BABL「ブラック企業」を再定義する」勉強会	11月8日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ
11月14日(土) 17:00~20:00 @HPでご確認ください レッド・マリア 上映会	11月15日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ
	11月22日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ
11月23日(月)・祝 17:00~19:30 『プロレタリアートの夜』アートと労働 @HPでご確認ください	
11月28日(土) 19:30~ @IRA(新宿) 移住労働者の過去と現状	11月29日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ
	12月6日(日) 14:00~17:00 @あなたの公-差-転 ワークショップ
12月12日(土) 15:00~18:00 @HPでご確認ください ラウンド・テーブル・ディスカッション	
12月12日(土)~20日(土) 展覧会 @HPでご確認ください	

当日参加が可能です。事前に予約をいただけるとありがたいです。お申込みは info@dis-locate.net まで。

↓変更、追加情報はウェブサイトにて↓

<http://dis-locate.net/>

<https://www.facebook.com/dis10cate>



作業中ワークショップシリーズ

毎週回 14:00~17:00 @あなたの公-差-転

世代・国・経験も異なる様々な人たちと一緒に、大胆で独創的な参加者として、個々の仕事や労働に対する問いを共に検証していきましょう。参加者は、労働に対する自身の問題意識や関心に基づいて、8週間にわたる研究を行います。意見や情報の共有を通じて、このリサーチについてあなたなりの表現を練り上げてください。参加者はアートの経験が全くない人でもいいですが、アーティストとして、研究の過程と結果を最後の展覧会で発表していただきます。この方法で、仕事の性質や「アート作品」の定義そのものを考察します。

ご興味がある方は事前にご連絡ください。

info@dis-locate.net

定員：10名



1960年代の働き方・暮らしぶりと今

11月3日(火)・(祝) 15:00~18:00 @かがやき亭(西荻窪)

メディアは私たちの時間感覚をどのように形づくるのでしょうか？ 当時の出来事をどのように反映し、何を置き去りにしてきたのでしょうか？ 60年代は社会が激変した時代で、社会の価値観が変わっていくと同時に、産業や経済も急速に発展しました。その中で社会人になり、働くことがどのような意味を持っていたのでしょうか？ 仕事に対してどのような意識があったのでしょうか？ またそれによってどのような暮らしができたのでしょうか？ また、当時の状況を今日の社会と比較するとどうでしょうか？

このイベントは、60年代、70年代の出来事を直接体験した方から、これから「働くこと」について考え始めようとしている方まで、多様な背景・年齢の方が集まる場にしたいと考えています。

一緒に当時のニュース記録映像を見て、どのような印象を持ったか、あるいはどのような経験が思い出されたか、身近な話からメディアそのものが表すこと以上の問題意識・感覚などを自由に共有できる場をつくっていきます。

11月に杉並区善福寺を中心として60年代・70年代に映画館で上映された「毎日ニュース」の映像を見ながら、過去の労働問題、働き方と現在労働に関して若い人が直面している問題についてディスカッションを行う予定です。様々な世代の方が集まり、当時の経験から現在の労働環境の中での葛藤まで話したいと思っています。



労働+移住+文化 —— 香港のケーススタディ

10月24日(土) 15:00~18:00 @アジア女性資料センター(渋谷)

文化研究者であるインドネシアのブリギーター・イザベさんらが、アジア女性資料センターにて主にインドネシアからの家事労働者と共に香港で展開してきた最近のプロジェクトについてプレゼンテーションをします。

都市の公園やオフィスビル街で週末に行われる家事労働者の集まりのなかにある「移動式図書館」、すなわち労働者の母国語で書かれた本が詰まったたくさんのスーツケースをみてきたブリギーターさんは、勤務後の読書会を企画し、社会の周縁におかれた労働者が文化的で知的な領域における表現行為の先導者、主体者になるような空間の拡張を試みました。

ブリギーターさんには、労働者との共同プロジェクトの展開と、香港の家事労働者の状況についてのご研究をお話し頂き、この企画を渋谷周辺の公共空間で行うワークショップにつなげます。ワークショップでは前述の移動図書館のコンセプトを取り入れ、仕事や余暇に関して路上でオープンディスカッションを行う予定です。

持ち物：仕事そのものや、労働条件(家事・無報酬の仕事を含む)に関する問いを發した本がお手元にありましたら、言語を問わず、ご持参を歓迎致します。渋谷での数時間、ぜひ色々な人と本を共有しましょう。



BABL「“ブラック企業”を再定義する」勉強会

11月7日(土) 15:00~18:00 @あなたの公-差-転

「ブラック企業」とは、なぜそのような名称で呼ばれるようになったのでしょうか。「ブラック企業」という名称は違法な過重労働、残業代未払い等、複合的かつ多様な問題を含んでおり、それらの問題の根本にあるものが明らかにされないまま「ブラック」という曖昧な言葉で定義されているように思えます。この企画では、「ブラック企業」の新しい名称を考案してみたいと思います。個々人のこれまでの“ブラックな労働体験を語りあい、最後に集約して、ブラック企業にまつわる問題の共通点を明らかにしたいと思います。“ブラック”の根本にある問題をどのように解決したらよいか、「社会運動」「法律」などを軸に考えてみたいと思います。

BABL(Black Against Black)はブラック企業に反対する活動グループであり、様々なアプローチを通してブラック企業の搾取に対して意識を高めようとしています。今回は勉強会としてブラック企業問題を分かりやすく紹介します。ブラック企業の定義、訴訟の事例などを知り、また労働法に詳しい弁護士も招き、一緒にこの問題を考えたいと思います。このような問題に直面する多くのアートワーカーにもおすすめです。



レッド・マリア 上映会+ワークショップ

11月14日(土) 17:00~20:00 @かがやき亭(西荻窪)

韓国・日本・フィリピンの社会の辺境で働く女性たち——家事労働者から、性労働者、非正規労働者、移住労働者、介護労働者、フィリピンの元「慰安婦」たち、そしてホームレスとしての生活を選択して生きる日本の女性。グローバリズムと高度資本主義の中で社会の周縁部に追いやられながらも、たくましく生きるアジアの女性たちのさまざまな姿を、ときには寄り添い、ときには女性たちと共に怒り、ときには涙しながら見つめる。



Brigitta Isabella

ブリギータ・イサベラ (1989年生まれ) 2012年ジョグジャカルタのGadjah Mada大学の哲学学部を卒業。その後イギリスのキングス・カレッジ・ロンドンで批評方法論の修士課程を修了。2011年からジョグジャカルタにあるリサーチ・グループKUNCI Cultural Studies Centerのメンバーとして活動してきた。2014年10月パリでの89plus x Google Cultural Instituteのレジデンスに2ヶ月滞在し、現在Getty FoundationのConnecting Art Histories企画のAmbitious Alignments: New Art Histories from Southeast Asiaのリサーチ・プログラムに参加している。また今年香港のPara-siteギャラリーとの協力によって香港在住のインドネシア移民労働者の知的生活を研究している。Southeast of Now: Directions in Contemporary and Modern Artというアート・ジャーナルの編集者でもある。

参加アーティスト



Jong Pairez

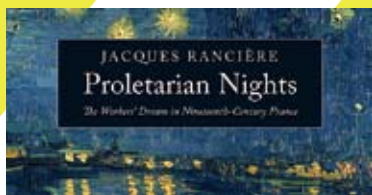
ジョン・バイレス (1978年、フィリピン生まれ) マニラと東京在住のメディア・アーティスト。持続可能でオールタナティブな生活のリサーチやデザイン、または人災と天災の共有体験を通じて生き残る方法を探り、文明と繋がるための、戦略的なスペース Civilization Laboratory (CIV:LAB) の設立者。移住、変位、ジオグラフィー、異文化との境界線に関心を持ち、デジタルとアナログのテクノロジーによって空間の論理と不合理に取り組む。ビデオ・ドキュメンタリーや8mmフィルムの作品制作を通じて、押し付けられた地理を再創造するために重要な音とイメージのある環境をつくらうと試みている。来日してから自分自身が失われた世代の「移民労働者」であることも主張してきた。

Is it Working?

『プロレタリアートの夜』アートと労働

11月23日(月・祝) 17:00~19:30 @HPでご確認ください

ジャック・ランシエールは、『プロレタリアートの夜』という著書の中で、19世紀フランスの労働者階級の文化活動を再分析し、大きな影響を与えました。昼間は鉄をずっとたたき続けなければならない労働者は、夜になるとペンや筆を手にし、アートや文学などの知的探求によって、自由にならない心身の解放を目指しました。文化や知的活動によって、階級制度や生きる希望を持ってないというハンデを超え、政治的な力へと道が開けていったのです。このイベントではインドネシアのジョグジャカルタにあるKUNCI Cultural Studies Centerのメンバーである、フランスの文学・哲学の専門家のBrigitta Isabella氏を招き、現在の不安定な社会に当てはめて『プロレタリアートの夜』の意味を再解釈し、ランシエールの『無知な教師』の概念も活かしながら、アーティストやアートワーカーがよくわかるはずの、時間の分断という問題の中での自己表象、セルフエンパワーメントの可能性を探ります。



移住労働者の過去と現状

11月28日(土) 19:30~ @Irregular Rhythm Asylum

1980年代初頭にフィリピンでの反政府のデモ活動に没頭し、1986年ケソンシティのTrinity Collegeにて政治学を修了したレイ・ヴェントラは、不法入国で来日、80年代後半横浜の寿町で日雇い労働者として働いた。この経験から、不法移民労働者としての生活の記録を多く残している。そのひとつに“Underground in Japan”があり、既に邦訳もされている。現在はジャーナリスト及び映像作家として認められ、作品に自らの経験を反映させ、現在の活動にも活かしている。バハグ・デ・ガズマンも東京を拠点としている写真家・映像作家であり、ファッション雑誌の華やかな世界で積み上げたキャリアを持つ一方、ドキュメンタリー写真とフォト＝ジャーナリズムの伝統に倣った社会的作品を生み出すことに情熱を注いでいる。3.11以降、ガズマンは福島県の除染活動に携わる人びとを含めた、原子力発電所での移民労働者の役割について調査している。このイベントでは、日本で働く外国人労働者の役割と二人の個人的な経験についてのディスカッションを行う。

※注意：二人ともフリージャーナリストなので急に出張する場合があります。イベント前日は必ずHPの最新情報をご確認ください。

